争業ン	・一ト(平成30年度決算)						41_用协本	·司·XISX_I								
		会計	1 -	般会計			総 基本分野 5	基盤·安全								
事業名	81100 消防本部運営事業費	予款	8 消	防費			合計 個別分野 9	消防			市長公約					
		算 項	1 消	防費				消防体制の充実			印及五小					
担当課	消防本部 消防総務課·救急課 内線 2119	目	1 常	備消防費			根拠計画消防	計画								
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合計	画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目标
											「消防·救急体	*制が整って	ている」と感じている市民	民の割合 83.9%	82.6%	7
																†
	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との過	車携を強化する	lo low war	- 消防ス	太部の運営.	関係機関との	連絡・調整、大野郡白川	村の消防事務の受託								-
目的	・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財		" 概要			ステムの保守										
2 車業										(千円)	4 亚成31	在 由 马	算編成(Action	<u>,) </u>		(千円
4. ** **	// 大心和太子 (DO)				H29			Н	30	(113)	7. 772.01	十皮 5 H31予		実施計画額		86,20
	歳出事業費		最	是終予算		央算 (a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求客		財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)			114,5	73	111,836	129,813	129,813	126,297	14,461	10	66,388	145,823	145,823		16,01
	国弗 (,	,0	-	0 111,000	·		,	0	<u> </u>	- 5,550	7 10,020	1.10,320		. 5,51
	国費()				0		_		 					
特定財源	県費 (県移譲事務交付金)	7	32	1,147	1,133	1,133	925	△ 222	¦	530	909	909		△ 22
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等	č.)	15,5	81	15,922	18,068	18,068	19,330	3,408	·	14,417	21,156	21,156		3,08
一般財				98,2	60	94,767	110,612	110,612	106,042	11,275	1:	51,441	123,758	123,758		13,14
個票枝番	主な事業内容										査定額	頂		説明		
	消防本部の運営			113,9	84	111,538	116,493	116,493	115,312	3,774	1	17,973				
				110,5	07	111,000	·	·		•						
© 1	AED(自動体外式除細動器)の屋外設置						13,000	· ·		10,808	i L	27,520				
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)			5	89	298	320	320	177	△ 121		330				
											1					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	48+11++									V 3 +1 /= 92 郷土	7 4 14 17 1811	適さないなど、記載省略()	V) + 7 4 0 4/2 11 + +		
0 TF ===					1 E 377 E	─ ♣००左≠:	电光电线 领压	·ケ(の I) D:			次人们(一彩音 9	るにめ公用に	-週さないなど、記載省略(%	R/)9 る場合かめりまり。		
3.平风	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施	<u> </u>			[2.平)	以30平度	<u> </u>	等(Check) R1	1.8美.		施策の					
											実施方針	枚急救命の	推進			
	・消防署等施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。							置等の保守点検、維持管								
事業実績	・緊急通報の多言語対応を行った。 災害対応14件(延べ37回)				事業実			。 災害対応24件(延べ 注化に向けた県への継網								
	・防災へリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望を行っ ・火災出動 26件、救急出動 4,111件、救助出動 44件(平成29年中)					火災出動		8件、救助出動 38件(至					指令システムによる消			
						-ACDU/A	77改旦 梦故32.他故、	利設20.他設			ポイント	AED(自動	体外式除細動器)の屋	外設置		
	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の	充実が図られ	t=.						消防体制の充実が図られ							
評価等	・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、11			確な対	評価等	・高機能消応が図られ		的な連用及び多言語対	応により、119番通報に対	可する迅速・的催な対	財務部					
	応が図られた。					•AEDを屋	外に設置したことで、い	つでも誰もがAEDを使用	引できる環境を整備するこ	とができた。	査定の・種	責算内容の	精査			
											考え方					
			維持・改 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	善善						☑ 維持·改善 —						
次年度	・高機能消防指令システムの適切な保守管理		」 拡大		次年月		防指令システムの適切	な保守管理		□ 拡大						
以降の 考え方	・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。] 縮小	.	以降の考えが	・救急・消	方隊の適切な運用により	スポット社 リ、市民の安全安心を確	保する。	□ 縮小	・財務部査定のとおり					
(担当課)	・AEDを屋外に適切に設置する。] 廃止検討] H29完了		(担当記		外に適切に設置する。			□ 廃止検討 □ H30完了	の考え方	如你即正正	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
			」 ^{nz9} 元 1] H30完了							□ H31完了予定						
		Į L	50,01	, ~-												

事業名	81100 消防本部運営事業費	区分	☑ H30新規	☐ H31新規	予算 -	会計	1	一般会計	担当課	高山消防署 救急課
	61100 / / / / / / / / / / / / / / / / / /		☐ H30拡充	☐ H31拡充		款	8	消防費	担当麻	
枝番·内容	1 AED(自動体外式除細動器)の屋外設置	四刀	□ その他重要事業		了开	項	1	消防費	内線	2117
权钳 内谷	1 700(日初降/八八份/收购的111700年/1100年					目	1	常備消防費	作成年月	R1.8

事業の目的・概要(Plan)

次年度以降

の考え方 (担当課)

7- NO	MACHINE MICH.					
	・平常時、災害時に限らず、いつでも誰もがAEDを使用できる環境を整備し、市民及び観光客の教命率向上を図る。	概要	・既設AEDの屋外設置 ・地区公民館、集会場等公共的施設へのAEDの新規屋外設置			

[参考] H29	決算(Do-	Check)	H30.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
17 异创	補正等			
	最終			
決算	草額			
対前年度増	減額(決算)			

事業実績、評価等

		Accion, i	IOU.UPT JAK	(1117
予算額	当初			13,000
主な経費	・AEDのリース ・屋外設置用収	納ボックスの購	入	
対前年度増減	額(当初予算)			13,000
※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり				

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)						
予算額	当初			13,000		
主な経費	・AEDのリース ・屋外設置用収納ボックスの購入					
対前年度増減	額(当初予算)			13,000		
	額(当初予算)		== ±b /lomb / \1/\ _L 7			

		l
		ŀ
		l
維持·改善	Ì	
拡大		
縮小		
廃止検討		l
H29完了		l
H30完了予定		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容、スケジュール
【事業内容】 ・既設AEDの屋外設置(市所有施設:32施設) ・新設AEDの屋外設置(市所有以外の公共的施設:20施設) ・新設AEDのリース(市所有以外の公共的施設:20台)
[スケジュール] ・既設AED屋外設置 対象施設の現地確認(4月~5月予定) 32施設の移設場所の決定・工事発注(6月予定) ・地区公民館、集会場等公共的施設へのAEDの新規屋外設置 まちづくり協議会への個別説明・協議開始(4月~ 8月予定) まちづくり協議会との協議完了(9月末予定) 新規設置場所の調整(10月) 平成30年度分 新規設置工事発注(11月予定) ・新設AEDのリース 平成30年度分新設設置に係るAEDリース開始(11月予定)

H30決算(I	Do-Check)	R1.8時点	(千円)
	当初		13,000
予算額	繰越		
了昇敏	補正等		
	最終		13,000
決算	草額		10,808
対前年度増	減額(決算)		10,808
対前年度増	減額(決算)		10,808

対前年度増減額(決算)	10,808			
事業	美実績、評価等			
【事業実績】 ・市所有32施設の既設AEDを屋から、市所有以外の公共的施設20がした。 【評一等時、災害時に限らず、いっすることができた。 ・AEDが身近な施設へ整備され、上し、応急等の音及啓発が3・教命講習の受講について、町及啓発していく必要がある。	を設に新規にAEI つでも誰もがAEDる たため、住民の表 進んだ。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きる環境を整備	
基)を計画に沿)、新規設置(60 つて設置する。 計画を立てる必		維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H30完了 H31完了予定	

H31予算要求(Action) (千円)					
予算額	当初	27,520			
主な経費	・AEDのリース ・屋外設置用収	納ボックスの購入			
対前年度増減	額(当初予算)	14,520			

対前年度増減額(当初予算)	14,520
※入札に影響するため公開に遊	さないなど、記載省略(※)する場合あり
* ****	容、スケジュール
【事業内容】 ・既設AEDの屋外設置(市所有・新設AEDの屋外設置(市所有・新設AEDのリース(市所有以タ	以外の公共的施設:60施設)
[スケジュール] ・屋外化工事(5月~7月予定) ・新規設置工事発注(9月予定) ・新規AEDのリース(1月予定)	

41_消防本部.xlsx_2 81100-1

事業シ	・一ト(平成30年度決算)						41	_消防本語	凯.xlsx_3								
		会計	1 一般会計				総基本分	野 5	基盤·安全								
事業名	81110 消防署運営事業費	予款	8 消防費					野 9				本 馬	長公約				
		算 項	1 消防費				画 施策概	更 2	消防体制の充実			צבנוו	Z A NU				
担当課	消防本部 消防総務課 内線 2119	目	1 常備消防	費			根拠計画	消防語	計画								
1.事業(の目的・概要(Plan)												総合言	十画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整 の適正な維持管理を行う。	をえ、機械器具等	概要・消	防庁舎((本署1、分署	·3、出張所4)や機械器具の)維持管	理(白川出張所は白川村か	ら消防事務を受託)						
主業(」 の実施結果等(Do)										(千円)	<u> </u>	区成31年度3	予算編成(Action	n)		(千円)
·. 于 木 ·	少天旭和末年(50)			H	29				H30		(111)		H31 ⁻		実施計画額		29.300
	歳出事業費		最終予算]	決算	(a)	当初予算	(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	i	要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)		27	7,264		24,717	2	7,223	27,223	25,998	1,281		32,501	28,210	28,21)	987
	国費()								<u> </u>		i	·	-	<u> </u>		
特定財源)															
	その他(白川村受託事業収入・消防施設等使用料)	2	2,057		2,011		2,059	2,059	2,090	79		2,143	2,037	2,03	,	△ 22
一般財				5,207		22,706		5,164	25,164	23,908		i	30,358	26,173	26,17	-	1,009
個票枝番	主な事業内容					•				·		-	査定額		説明		•
	消防署の維持管理		27	7,264		24,717	2	7,223	27,223	25,988	1,271	i	28,210				
												il—					
												-					
												-					
												!					
	ツーのは ナハ東参加会を仕を出しままのでも ロミシが毎川東参謀に、 取したい場合	48+11++										W 1 d	41 / Pと総十フォ は 八日	/- '本ナナ、/ ナ、!!	۷\+ 7-4-0 -1/4+1 +-+		
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合			- 1		0年 幸 1	F # cb 4 =	== /±-	9#* (OL II) D4 0!			*/*	礼に影響するため公開	に適さないなど、記載省略()	※)する場合かめります。		
3.平风2	<u> 29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施</u>			ווד	5.平成3	0年及 =	P未夫粮、	計価	等(Check) R1.8	夫.他		施领	策の				
													西方針				
				Hil								Н					
事类中结	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した	÷.		Hill	市				り ・) や機械器具の維持管理を 王気中開閉器(AOG)取替(工作						
事業実績	・各署所の施設修繕を行った。(空調水漏れ・乾燥室乾燥機・電源用避	雷器交換等)					®緑(清見)等)	//こ。(同)	工式中用闭备(AUG)双省(人野/、地ドジノ/ル	国前岬陇奋双首(平		当課	m	14 66 TM 319		
													学家・消防者(分イント	*署・出張所を含む)の維	持官埋貨		
				4 1													
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。			ΗiΙ	評価等	• 旃 設 • 設 備	の適正な維持	管理によ	:り、消防体制の充実が図ら	h.t							
11 Im 13	NEW TO WE AS SET OFFER BETT OF NO. WINDS. W. IN SOCIAL DEPOSITS.			Ш	HI IM ()		**************************************	B-11-0	, V. (1)(0) (4:-10) (0) (10 El 2)				務部 定の ・積算内容の	の精査			
				Hil									え方	<u>-</u>			
	- I	\square	維持·改善	1							☑ 維持·改善						
次年度		_	拡大		次年度						□ 拡大				<u> </u>		
以降の	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用 め、修繕費等の抑制に繋げる。		縮小		以降の				具合を早期に発見し、効率的	的な運用等を進	編小	市長	全定	コの トかけ			
ラスカ (担当課)	と、「ジャロュス サンプドーザルー外・ノーの。	-	廃止検討 H29完了		(担当課)	∨ノ、 砂帽貝	費等の抑制に繋げる。 □ 廃止検討 □ H30完了				□ 廃止検討 □ H30完了		きえ方・財務部査算	E のとおり			
		-	H30完了予定								☐ H31完了予定						
							41	消防本語	邹.xlsx_3			_					81110

事業シ	ノート(平成30年度決算)							41_	消防 本部	0.XISX_4									
			会計	1 一般会計				総基本分野合	予 5 基	基盤・安全									
事業名	81120 予防事業費	予	款	8 消防費				計 個別分里					市長	公約					
10.11.50		昇 —	項	1 消防費				画施策概要		予防体制の充実 一									
担当課	消防本部 予防課 内線 2118		目	1 常備消防	Ę			根拠計画	消防計	· 🗒									
1.事業	の目的•概要(Plan)											1		総合計	計画等 主な指標		H29実績	H30実績	H31目標
目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により 高揚や防火知識の普及を図る。	り、防火	意識の					入検査や講習3 の啓発活動を9					高齢者	皆宅防火訪問件数	(数値はH27年度から <i>の</i>)累計)	2,550件	3,476件	4, 300件
の車業	 の実施結果等(Do)											(千円)	4 27	成21年度3	・ 算編成(Action	n)			(千円
2. 争未	の夫爬和朱守(D0)				Н	29				H	80	(TD)	4.4	- 灰い十尺丁 H31子		実施計	+画額		1.00
	歳出事業費		-	最終予算		決算	(a)	当初予算	(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額	市長査		増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)			1	,030		1,016		1,030	1,030	1,007	^ △ 9		1,409	1,030		1,030		
	国費()																
特定財源	県費 (県移譲事務交付金)	1	,030		1,016		1,030	1,030	1,007	Δ 9	i L	1,409	1,030		1,030		
	その他()																
一般財	源				0		0		0	0	0	0	i	0	0		0		
個票枝番	主な事業内容													査定額		説	明		
	火災予防対策			1	,030		1,016		1,030	1,030	1,007	△ 9		1,030					
													ŀ						
													1						
													i						
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が	「あります。										<u></u>	※入札	に影響するため公開	に適さないなど、記載省略()	※)する場合か	があります。		
3.平成	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施			<u> </u>	. !	5.平成3	0年度	<u> </u>	評価等	等(Check) R1	.8実施	<u> </u>							
	・立入検査計画(年度)の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実行った。(目標値800件、実施968件、特定防火対象物の重大違反8件中・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講	5件是正	Ξ)			1	行った。(目	目標値912件、実	施966件、	、特定防火対象物の重	大違反5件全ての是正	・立入検査・違反是正を Eを行った。) 2回、受講121名、甲種	実施						
事業実績	防火管理再講習:開催1回、受講18名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間等実施計 育園児、力車等協力による火災予防啓発活動3回、文化財防火デー部 件、危険物施設立入検査219施設 ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施 率:95.3%、個別訪問指導:445件)	計画の作 訓練10件	F成・実施 牛、対象物	を行った。(保 7合同訓練18		事業実績	防火管理再·春季·秋季 育園児、人 件、危険物 ·住宅用火	講習:開催1回、 火災予防運動、 力車等協力によ 施設立入検査2	、受講18名 、文化財版 る火災予 28施設) †策実施計	名) 防火デー、危険物安全 防啓発活動4回、文化	週間等実施計画の作用 財防火デー訓練11件、	成・実施を行った。(保	予算	要求の計上	明査及び立入査察(違反 D)啓発等に要する経費を		する知識・技	術の向上を	を図る経費
	・立入検査は目標値を上回っているが、未是正の重大違反についてはフ	フォロー語	調査、指導	算を強化する			☆ 入給杏!	ま日標値を F回	っており	、特定防火対象物の重	大違反5件全ての早正	を図った。							
評価等	等、更なる指導が必要である。 ・防火管理講習は目標値以上の受講者があり、防火管理者未選任違反・各予防運動等における実施計画の内容は達成できた。 ・住宅用火災警報器の設置状況は、全国の設置率(81.796)と比べ高いが必要であり、今後とも設置及び維持管理の啓発を図っていく必要がある。	が、設置				評価等	防火管理 各予防運 住宅用火	講習は目標値じ 動等における実 災警報器の設置	L上の受請 施計画の 【状況は、	構者があり、防火管理者 内容を達成できた。	る未選任違反の是正が)と比べ高いが、設置		財務查定考え	・積算内容の	D精査				
	・立入検査、各予防運動及び防火管理講習は目標値を上回っており次名	年度以降	#	維持・改善								☑ 維持·改善							
次年度 以降の	も継続する。 ・複雑多様化する火災の原因調査に対応するため、調査員の知識・技術 ナロス	所の向上				火年度 !	重大違反	対象物に対する	違反調査	理講習は引き続き充写 等の適切な運用を図る	5.	□ 拡大	i						
考え方 (担当課)	を図る。 ・住宅用火災警報器は全国の設置率(81.7%)と比べ高いが、設置後の近特管理が必要であり、今後も設置及び維持管理の啓発を継続し更なるの高揚を図る。		ti			考え方(担当課)	図る。	様化する火災原因調査に対応する。		造に対応するため、調査員の知識・技術の向上を 世帯への設置、維持管理の啓発を継続する。			市長査定の考え方・財務部査別		査定のとおり				
	→ H30完了予定								_										

争未ン	ゲート(平成30年度決算)							*****	日初午日	,								
			会計	1 一般会計	ŀ			総基本分野	5	基盤·安全								
事業名	81130 警防事業費	予	款	8 消防費				合制個別分野					市長公約					
		算	項	1 消防費				画 施策概要	2 3	消防体制の充実			111 12 12 113					
担当課	高山消防署 警防課 内線 2117		目	1 常備消防	費			根拠計画	消防計	一								
1.事業(の目的・概要(Plan)													総合言	計画等 主な指標	H29実	績 H30実績	H31目標
													関係機関と	の合同訓練	回数(年間)	66[50回	50回
	・消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状	態を維	推持し、災															
	害時に確実に使用できるようにする。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓	川純東、葉	整容及75防							実施によって現場対応ス								
目的	災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。									緊急消防援助隊岐阜県 発見により、安全かつ								
	・保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害引被害を最小限に食い止める。	発生時	において		12.1710	7 1 1 3 4 4 2 110	1) C mm 1) 1 1	.,,	, ,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,, ,						
の車業の												(4.0)	4 37 5	01年度3	予算編成(Action	.)		(Z m)
2. 争未(ル夫心和朱守(D0)					129				нз	30	(千円)	4.平风	31年度了 H31 ⁻		実施計画額		(千円)
	歳出事業費			最終予算			算 (a)	当初予算(6	c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増源	10,200 ₹ (d)–(c)
	(職員人件費を除く)				4,910		14,466		,170	15,170	14,815			19,665	16,450	16,4		1,280
				<u>'</u>	-1,510		17,400	13	,170	13,170	14,013	349	 	10,000	10,430	10,4	-	1,200
	国費()															
特定財源	県費 ()															
	その他(白川村受託事業収入)		820		805		820	820	837	32		1,622	820	8	20	0
一般財	源			1	4,090		13,661	14	,350	14,350	13,978	317		18,043	15,630	15,6	30	1,280
個票枝番	主な事業内容				<u> </u>		•		,	,	•		查	定額	,	説明		,
	消防車両·装備等維持管理			1	4.910		14.466	15	.170	15.170	14.815	349		16.450				
	7777 777 3277 277 277 277 277 277 277 27				1,010		1 1, 100	- 10	,170	10,170	1 1,010	0.10		10,100				
													¦					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	5 48 ± 11:	±+			ļ							× 3 +1 (- \$\frac{1}{2}\)	ボナスもみの四	に適さないなど、記載省略(※	ハナを担合がも川まっ		
			<i>x</i> 9 °		- 1		ᇮᄼᆍᄨᆍ	i # cb 4 = 1	ST /DE 6	本 (0) 1) D4	o =======		※人和に影響	19 句にの公用	に辿さないなど、記載自昭(次	() 9 句明ロハのりょう	0	
3.平成2	<u> 29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施</u>	<u>t</u>			πĖ	5.平风	30年度	▶ 天 程 、	拌個等	等(Check) R1	.8美.他		施策の					
					1!								実施方針					
					13													
	・空気呼吸器用ボンベについては、19本の耐圧検査を実施し、必要な									12本の耐圧検査を実施								
事業実績	・消防車両21台の車検整備等を実施し、安全な車両運行及び火災現 施1.た.	場等に	おける確実	な防護活動を乳	₹	事業実績		18台の車検整備等	等を実施	をし、安全な車両運行及	び火災現場等における	る確実な防護活動を実						
	緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災	航空隊	\$等との訓練	を実施し、連携	;	7 70,00	·緊急消防		隊訓練、	警察及び県警山岳警	備隊、防災航空隊等と	の訓練を実施し、連携	担当課	>₩ B± ±2> =	3 = # 4 = 7 1 (7 = 1)	のままのまや敷料	ntn 200 A.L. letr 4000	. 044
	強化を図った。				- 1		強化を図っ	<i>T</i> =.					プ昇安水ポイント	・消防ホン	プ車、救急車及びその他の	ル単両の単検登 値	i、 尖 発的惨結	への対応
																		•
	・保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、大規	模な修	繕費等の 発	生を抑制でき			・保有する耳	車両、資器材の維	持管理	!、不具合の早期発見に	より、大規模な修繕費	等の発生を抑制でき						
評価等	た。 ・近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊等との訓練実施により、現場	活動の	の連携強化。	→現場対応力の	,	評価等	た。	本部や警察. 緊急	急消防援	爰助隊等との訓練実施!	こより、現場活動の連携	集強化と現場対応力の	財務部					
	強化を図ることができた。	,, LL 200 e	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	90-907-17-0-73-0-				ことができた。	20110312		-0.7(30.8/1230.725)	75 TA TO C -50- 517-1 70-75 47	査定の	•積算内容(の精査			
													考え方					
				維持·改善	1:							☑ 維持·改善						
次年度	・消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の老朽化による突発的な修			拡大		次年度				の車両の老朽化による		□拡大						
以降の	応が増加する傾向にあり、不具合の早期発見に努め災害時に確実によう整備する。	理用で			11	以降の	傾向にある 整備する。	にめ、適止に点材	中修語等	「を実施し、災害時には	・唯夫に埋用できるよう	□ 縮小	市長査定しいないます。					
考え方 (担当課)	・発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップ 隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。	プを図り		廃止検討	Τi	考え方 (担当課)	・発生が危(惧される特殊災害	等に対	ができるよう、隊員のス	スキルアップを図り、小	□ 廃止検討	の考え方	・財務部査5	定のとおり			
	外内 リレ・ハルリーエと 以 外 大			□ H29完了 □ H30完了 □ H30完了 □ H30完了 □ H30完了 □ H31完了予定 □ H31完了予定 □ H31完了予定 □ H31完了予定														
				ロルエリア正	-		L	41 3	出际本当	ß.xlsx_5				<u> </u>				81130

事業シ	ゲート(平成30年度決算)							41_	消防 本部	.XISX_0										
			会計	1 一般会計				総基本分野合		ҍ盤・安全										
事業名	81140 救急事業費	予	款	8 消防費				計 個別分里					市長公約							
担当課	高山消防署 救急課 内線 2117	异	項目	1 消防費 1 常備消防	#.			画 施策概要 根拠計画	4 N 消防計	牧急体制の充実 										
			Ħ	1 市場用約3	ą.			依拠計画	一月初前	<u> </u>				40.4	-1					
1.事業(の目的・概要(Plan)											1	bi A		計画等主な指標		H29実績			
													救命講	習修了証所有都	香数		6,860人	8,849人	6,500人	
目的	・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配 の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の9							び病院実習を乳												
	図 る。																			
2.事業(の実施結果等(Do)											(千円)	4.平	成31年度	予算編成(Actio	n)			(千円	
	华山市张肃				Н	29				H					予算	実施計i			8,500	
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算	,787	決算(7,485	当初予算	8,300	最終予算 8,300	決算 (b) 7,870	增減 (b)-(a) 385	-	要求額 10,804	財務部査定額 8.443	市長査定	· 額(d) 8.443	増減	(d)-(c)	
	国費()	,	,707		7,400		0,000	0,000	7,070	303	i	10,004	0,440		0,440		17	
特定財源	県費()																	
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	7	,787		7,485		8,300	8,300	7,870	385	!	10,804	8,443		8,443		143	
一般財					0		0		0	0	0	0		0	0		0		-	
個票枝番	主な事業内容													査定額		説明]			
	救急救命の推進等			7	,787		7,485		7,970	7,970	7,546	61	i	8,113	医薬材料費等					
© 1	気管挿管救命士の育成								330	330	324	324		330	1名				-	
																			-	
													-							
													ļ —							
													-							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります				<u> </u>					1		i 	-影響するため公開	 に適さないなど、記載省略(※) する場合がお	おります.			
	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施		0		- 1	5 3Z FB 30	(年度)	1. 堂宝结	亚 儒学	≨(Check) R1	8宝施		1	こか首 9 のたの A 所		W/ 9 - O-99 LL 10 - O	97676			
0. 1 1962	30千汉子未入镇、肝 岡 守 (Silbott) 1100.0 天心	•								F (OHECK) IVI			施策(実施力		の推進					
	・救急救命士の再教育を実施した。・薬剤認定救命士1名を養成した。・新処置認定救命士4名を養成した。					- 3 - 3	薬剤認定: 新処置認:	士の再教育を実 枚命士を1名を3 定救命士を9名3	態成した。態成した。											
事業実績	・指導救命士1名を養成した。 ・公募による普通救命講習を3回開催、事業所等各種団体からの要請(による救命	命講習を	358回開催し、合		- 5	気管挿管:	枚命士1名を育り	戊した。	命士2名を養成した。 催. 事業所等各種団は	からの要請による救命	☆講習を343回開催し、			士の再教育履修、必修の 士の認定資格の取得(病			実習、研修)	į	
	計5,207人が救命講習を受講した。				i	合	計5,201ノ	が救命講習を	受講した。				ポイン	・医療機器	消耗品(除細動バッテリ-	ー、ケーブル)	の計画的	更新		
					H															
		*	dr bn 000 23	7-4-4-1	Н					^+. + 'F#+ * '	1 ** ** = T - + + - 1	· hn =====++-								
評価等	・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定! 成を継続しながら、気管挿管認定救命士についても、養成する必要がる・救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。		新処直認	2定牧命士の養	ĺ	評価等 成	を継続し	ながら、気管挿	管認定救命	宮む生涯教育)の允美 命士についても、養成 :う開催する必要がある		処直認定牧命士の養	財務							
	JANUAR CE GOO, MIRE / GOOD SO				li				,, cc 00·		5 0		査定の考え		の精査					
			Ø	維持·改善	1							☑ 維持·改善								
次年度	・数争数命十の面教育(症院宝翌を今れ生涯教育)の卒宝と薬剤(翌中4	数命十 🛎	_ _	拡大	Ì							□ 拡大								
以降の 考え方	管挿管認定救命士、新処置認定救命士を養成する。	管認定救命士、新処置認定救命士を養成する。		縮小 廃止検討			年度 ・ 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、 「				□ 縮小□ 廃止検討	市長査定								
(担当課)	AND THE LEAVING THE COST WITH THE POST			廃止検討 H29完了	ļ				溝できるよ	う開催する必要がある	5.	□ 廃止検討 □ H30完了	の考え	方	たりこのう					
			H30完了予定								□ H31完了予定									

事業名	81140 救急事業費		□ H30新規	☐ H31新規		会計	1	一般会計	担当課	高山消防署教急課
	011110	区分	✓ H30拡充	☐ H31拡充	予算	款	8	消防費	担当杯	同山市财金 秋心味
枝番·内容	1 気管挿管救命士の育成	区刀	□ その他重要事業	業	l, H	項	1	消防費	内線	2117
汉田 171日	、大百坪百水中工グ月水					目	1	常備消防費	作成年月	R1.8

車業の日的。概要(Plan)

<u> </u>			
目的	・気管挿管教急教命士を養成し、病院前教護の質の向上及び市民サービスの向上を図る。	概要	・高山赤十字病院での気管挿管病院実習の実施

「参考] H29決算(Do•Check) H30.8時点 (千円) 繰越 予算額 補正等 最終 決算額

[参考] H30)当初予算(Action)	H30.3時点	(千円)
予算額	当初			330
主な経費	•病院実習委託			
対前年度増減	額(当初予算)			330
※入札に影響す	るため公開に谚	iさないなど。	記載省略(※)する	場合あり

	事業	実績、評価等	
			維持·改善
加左库以及			
次年度以降			縮小
の考え方	l		
の考え方 (担当課)			廃止検討
の考え方 (担当課)			廃止検討 H29完了 H30完了予定

事業内容、スケジュール
[事業内容] ・気管挿管救急救命士1名の養成
*丸官押官救忌救命エI名の養成 高山赤十字病院で気管挿管実習を行い、30例の成功症例で終了
・平成16年より救急救命士による気管挿管が認められて以降、気管挿 数急救命士の養成については、県内に宝羽可能施設が小ないことから

・気管挿管救急救命土1名の養成 高山赤十字病院で気管挿管実習を行い、30例の成功症例で終了
・平成16年より教急教命士による気管挿管が認められて以降、気管挿管 教急教命士の養成については、県内に実習可能施設が少ないことから 飛騨地域にある3消防本部(高山、飛騨、下呂)が輪番で教急教命士を市 外へ派遣し、3年ごと17名ずつ養成を行ってきた。 ・平成30年度より、高山赤十字病院での受け入れが可能となったため、 毎年1名養成を行う予定
[スケジュール] ・平成30年度 1名養成 ・平成31年度以降 毎年1名養成(予定)

F	₩30決算([Oo • Check)	R1.8時点	(千円)
		当初		330
	予算額	繰越		
	了昇碩	補正等		
		最終		330
	決算	草額		324
	対前年度増	減額(決算)		324

対前年度増	減額(決算)			324								
	事業	実績、評価等										
[事業実績] ・気管挿管教命士1名を養成した。 高山赤十字病院で気管挿管実習を行い、30例の成功症例で終了(4月 11日~6月27日)												
[評価] ・気管挿管教命士は合計10名となり、高度な気道確保を必要とする教急事案に対する体制が向上した。 ・高山赤十字病院での実習受け入れが可能となったことにより、実習者の交通費、宿泊費を大幅に削減することができた。 ・今後は実習受け入れ人数の拡充について、病院との調整及び予算化が必要である。												
	・平成30年度か 病院での受け入 なったため、毎年	れが可能と		維持·改善 拡大								
次年度以降 の考え方	進める。			縮小								
(担当課)				廃止検討								
				H30完了								

H31予算要	求(Action	(千円)
予算額	当初	330
主な経費	•病院実習委託	
対前年度増減	額(当初予算)	0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

重	スケジュー	- 11.

[事業内容]

[スケジュール] ·平成31年度 1名養成 以降 毎年1名養成(予定)

・気管挿管救急救命十1名の養成

高山赤十字病院で気管挿管実習を行い、30例の成功症例で終了

・平成16年より救急救命士による気管挿管が認められて以降、気管挿管 救急救命士の養成については、県内に実習可能施設が少ないことから 飛騨地域にある3消防本部(高山、飛騨、下呂)が輪番で救急救命士を市 外へ派遣し、3年ごとに1名ずつ養成を行ってきた。

41_消防本部.xlsx_7 81140-1

□ H31完了予定

事業シ	ノート(平成30年度決算)							41	_用防本部	0.XISX_8								
			会計	1 一般会計				総 基本分野 5 基盤·安全										
事業名	81200 消防団運営事業費	予					市長公約											
im	West I to West to 75-70	算	項	1 消防費				画施策概		肖防団の充実 一			_					
担当課	消防本部 消防総務課 内線 2119		目	2 消防団費				根拠計画	消防計	画								
1.事業	の目的・概要(Plan)													総合	計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
				and a														
	1.00とはは、1.1.700 中位もこれは後日のよる 日立とウストルランド	## 	1 7h 1.8			の任免 当等の支給												
目的	・・火災をはじめとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消 迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努め、市域における災害等の					事等の企画、 への各種表彰												
	市民の安全、安心の確保を図る。			•消[方団施	設・資器材等の	の維持管理	里										+
				・消傷	方団員	の入団促進、	確保対策	の取組み(H29	~)									+
													L					
2.事業	の実施結果等(Do)					••					•	(千円)	4.平成		予算編成(Action	•		(千円
	歳出事業費			最終予算		29 決算 ((a)	当初予算	(a)	H3 最終予算	30 決算(b)	増減 (b)-(a)	—	H31 求額	予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額(d)	抽油	280,00
	(職員人件費を除く)				.719		87,976		52,629	260,629	245,533	△ 42,443	3	391,816		312,049	*B ///	59.42
	国費()	201	,,,,		.07,070		72,020	200,020	240,000	2 42,440		001,010	011,040	012,040		00,12
特定財源)								168	168						
137271111	その他(退職報償金、公務災害補償費、飛騨高山ふるさと基金繰	λ 全		56	.600		71,872		31,900	31,900	27,510	△ 44,362		56,471	58,200	58,200		26,30
一般則					.119		16.104		20,729	228.729	217.855	1,751		335.345		253,849		33.12
個票枝番				200	,110	_	10,104		0,720	220,720	217,000	1,701	杳	定額	202,040	説明		00,12
	消防団の運営			293	.549	2	87,000	25	52,529	260,529	245,433	△ 41,567			消防団員年報酬等			
© 1	消防団入団促進			1	,170		976		100	100	100	△ 876		290	フォトコンテスト ほか			
	 県消防操法大会高山市実行委員会負担金													22,000				
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	がありま	す。										※入札に影	響するため公開	 に適さないなど、記載省略(%	※)する場合があります。		
3.平成	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施	<u> </u>		\downarrow	1	5.平成30)年度	『業実績、	評価等	等(Check) R1	.8実施	\						
					Ti								施策の 実施方針	・消防団の	活性化			
	・防火訪問等の火災予防活動を行った。				1			等の火災予防					天旭刀町					
	・・花火大会等、各種イベントにおける警備活動を行った。 ・消防団組織等検討委員会を開催し、分団、班の再編や消防団の行事	事のあり	方を検討し	」た。						警備活動を行った。 、消防団活動に対する	る意識調査(アンケート)	結果を受け、消防団の						
古米中体	・消防団応援事業所制度の加入事業所の拡大に努めた。(登録数101 ・消防団協力事業所表示制度の認定事業所の拡大に努めた。(認定事	件(累計	†))		1	行	事のあり	方を検討した。										
争未夫視	・入団促進DVDを作成した。	₱未奴∠	/計(系訂	-))	事業実績・消防団協力事業所表示制度の認定事業所の拡大に努めた。(認定事業数254件(累計 ・作成した入団促進DVDを活用した広報活動を行った。(市役所ホール、救命講習の受					担当課	- 当時団昌	が安全、有効に活動でき の処遇改善	るための施設、車両、	装備等の約	推持管理			
	・消防団活動風景のフォトコンテストを実施した。 ・条例改正を行った。(年齢50歳以上制限の撤廃)				1		の配布)入団促進;	ポスターを700ぎ	8作製し、7	市内の事業所、団車庫	などに掲示した。		予算要求ポイント	・消防団の	入団促進策、確保対策			
	・消防団活動に対する意識調査(アンケート)を実施した。									特別報酬を新設した。	3.21.2,3.7.0.120			・岐阜県消	防操法大会開催経費			
									10-1	15-1-1-1-1								
評価等	・DVDの作成やフォトコンテスト等、団員や市民が参加しての取り組み保についての意識が高まった。	いかでき、	、消防団員	の人団促進、確	1			DVDの放映や 。(9名の増)	ホスターを	掲示するなど、消防団	員の入団促進、確保に	「努めた結果、団員数						
評価寺	・意識調査アンケートの結果を分析し、今後の消防団活動や入団促進 がある。	の具体	的な取り約	且みに繋げる必要	1	計冊寺	特別報酬		消防団員の	の処遇改善に努めたか	が、出動手当の見直しな	よど引続き処遇改善策	財務部	建铁中南	o let t			
	, www.				H	0.	ノ·(大口) // '火	·× (w/o)。					・					
			\square	維持·改善	1							☑ 維持·改善						
次年度	│ ・・意識調査アンケートで課題となった消防団員のイメージアップ及び消	防操法:	X I —	拡大	Ιì	次年度	*****	_# 2/#				□ 拡大						
以降の	会などの行事のあり方を検討し、団員確保に努める。			縮小	H	以降の	整備計画 人装備品σ	こ基つく車両の 充実を図り消	更新や団 ^団 防団員が災	車庫の改築や修繕を行 災害現場で円滑に活動	Tつとともに、引続き個 できる環境づくりに努	編小	市長査定	市長杏宝				
考え方 (担当課)	・AT車の導入や安全装備品の整備など消防団員の待遇改善を図り、 した団員確保に努める。	ひひをだ			ΙĹ		うる 。					□ 廃止検討	の考え方		防操法大会に向けた活動	助に対する支援		
				H29完了 H30完了予定	H							☐ H30完了 ☐ H31完了予定						
	1				1 .							L						

事業名	81200 消防団運営事業費		☑ H30新規	☐ H31新規			会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
争未石	01200	区分	☐ H30拡充	☐ H31拡充	予	5	款	8	消防費	坦当林	州财本即 州财松纳森
枝番·内容	1 消防団入団促進	区刀	□ その他重要事業		Jr.	*	項	1	消防費	内線	2119
次田· 內谷	一一一个的四人可以是						目	2	消防団運営事業費	作成年月	R1.8

車業の日的。無再(Plan)

デオツロ"	RV日間「MXX(Fidil)							
目的	・消防団員の入団促進を図り、消防団体制を充実させ、地域防災力の向上を図る。	概要	・消防団入団促進及び団員確保について取組みを行う ・消防団活動映像作成 ・消防団フォトコンテスト ・消防団員入団資格の見直し ・女性消防団員入団説明会 ・消防団活動に対する意識調査 ・広報活動の充実 ・機能別消防団員制度の活用 ・消防団応援事業所/消防団協力事業所の活用					

[参考] H29	?決算(Do•	Check)	H30.8時点	(千円
	当初			1,170
予算額	繰越			
了异似	補正等			
	最終			1,170
決算	草額			976
対前年度増	減額(決算)			976

考] H2	9決算(Do-	Check)	H30.8時点	(千円)	[参考] H30)当初予算(Action)H30.3時点	(千円)
	当初			1,170	予算額	当初		100
予算額	繰越					・ポスター印刷		
了异创	補正等				主な経費			
	最終			1,170	工は社員	- 1/2 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
決	算額			976				
対前年度増	減額(決算)			976	対前年度増減	額(当初予算)		1,070
			-		※入札に影響す	るため公開に適	iさないなど、記載省略(※)する	場合あり

事業実績, 評価等

事業実績]

・消防団活動ファイン・消防団活動ファイン・入団促進用ポーツ・消防団入団団・消防団員 「評価」 ・消防団入団資い消防団資いにある。 ・消防・引き続きがいた。 ・入団促進として	はPRKy家を収めだしいの作成 ドトコンテストを開催 ケットティッシュの作成(2,000個) 格の50歳までという年齢制限の精 地を対象に意識調査の実施 格を見直し、50歳以上の新入団 気軽啓発が必要である。 DVDやフォトコンテストの優秀作。 はいいかでは、 でいいかでフォトコンテストの優秀作。 はいいかでは、 でいいかでフォトコンテストの優秀作。 はいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいいかでは、 でいる。	 ■(基本 品を活月	用したポスター作
次年度以降 の考え方 (担当課)	・組織等検討委員会等における 消防団行事のあり方の検討		維持·改善 拡大 縮小 廃止検討
			H29完了 H30完了予定

主な経費	・ポスター印刷				
対前年度増減	額(当初予算)	△ 1,070			
※入札に影響す	るため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合あり			
	事業内容	容、スケジュール			
平成29年度の	事業内容] 消防団入団促進ポスターの作成 平成29年度のフォトコンテスト優秀作品を活用し、入団促進ポスター を作成、市内各所に掲示する。				
・平成29年度実 善、入団促進・6		調査結果に基づく団活動や運営等の改			
・消防団意識調 策の検討	ザイン等設計、作 査結果に基づくE	が、納品、掲示 団活動や運営等の改善、入団促進・確保 を抽出し、団との協議、事業案を作成			

H3U次昇(Do Check)	R1.8時点 (千円)		
	当初	100		
又答姑	繰越			
予算額	補正等			
	最終	100		
決	算額	100		
対前年度増	曾減額(決算)	△ 876		
事業実績、評価等				

決	算額		100
対前年度増	自減額(決算)		△ 876
	事業	実績、評価等	
し、団車庫や市に ・平成29年度関 ・・田行事・団員 で説明し、 ・長期にわたる ・・日31年度に消 ・・日31年の消費で ・・日31年の ・・日31年の ・・日31年の ・・日31年の ・・日31年の ・・日31年の ・・人団促進 ・・人団促進 ・・人団促進 ・・人団促進	内の主な事歌町計算を開発した。 内の主な事歌町計算を開発した。 実も施見を協います。 をはいます。 では、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	への掲音を持った。 意識組織等を持ります。 は別する特別報 に対する特別で はこ。 会は は一掲示など は の の の の の の の の の の の の の は の の も り の の も り の の の の の の の の の の の の	のうち、操法大会など消 員会や全支団の役員会 酬を新設したほか、出動 間性されることから、操法 法大会終了後に検討す 活動に努めたことによ 後も引き続き活動を継続
次年度以降 の考え方 (担当課)	・出動手当の見改善を図る。 ・消防団行事の 員の負担軽減を	見直しによる団	✓ 維持·改善 拡大 縮小

H31予算要	求(Action) (千円)
予算額	要求額	290
主な経費	・フォトコンテスト ・マグネットシー 広報紙の作成	の開催ト、入団促進ステッカー及び女性消防団
対前年度増減	額(当初予算)	190

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

車業	内灾	スケミ	ž-1 —	п.

[事業内容]

- ・広報活動の充実
- ・フォトコンテストの実施
- ・公用車等でのマグネットシートにより消防団員募集のPRを行う。 ・入団促進ステッカーの印刷
- ・女性団員広報誌印刷(年2回)

[スケジュール]

消防団フォトコンテスト

平成31年4月~平成32年3月 作品募集、審査会、作品展示

・マグネットシートによるPR

平成31年4月~平成32年3月 デザイン決定・発注・納品・掲示

41_消防本部.xlsx_9 81200-1

事業シ	・一ト(平成30年度決算)							41_闲防本部.	xlsx_IU									
		会計	1 一般会計				総基本	分野 5 基	基盤・安全									
事業名	81300 消防施設整備事業費	款	8 消防費				合計個別	分野 9 注	当防			市長公約						
	算	項	1 消防費					概要 2 消	肖防体制の充実			111111111111111111111111111111111111111						
担当課	消防本部 消防総務課 内線 2119	目	3 消防施設費	ŧ			根拠計	画 消防計	画•消防団車庫整備計	画								
1.事業(の目的・概要(Plan)												総合計	画等 主な指標	H29	実績	H30実績	H31目標
	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行	か、市民		5 団 車 個	を計画的	に整備する												
目的	の安全・安心の確保を図る。					に修繕整備												
の車業の	の実施結果等(Do)										(千円)	4 77 =	21年度至	算編成(Action	. <u>)</u>	-		(千円
2. 字 未 (<u>の</u>			H2	9				H30	n	(11)	+. 丁 <i>八</i>	<u>31 十 戌 ア</u> H31予		実施計画額	1		8.000
	歳出事業費		最終予算	Ī		享 (a)	当初予	予算 (c)	最終予算	· 決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(増減((d)-(c)
	(職員人件費を除く)			,935		6,845		7,000	7,000	6,539			87,063	58,640		,640		51,640
	m# /	`	0,	,000		0,040		7,000	7,000	0,000	2 000	i	07,000	00,040		,010		01,010
	国費()										!						
特定財源	県費()										i						
	その他(地方債)								6,000	6,000			50,000	50	,000		50,000
一般財	源		6.	,935		6,845		7,000	7,000	539	△ 6,306	il	87,063	8,640	8	,640		1,640
個票枝番	主な事業内容											査	定額		説明			
	消防団車庫修繕·撤去等		6.	935		6,845		7,000	7,000	6,539	△ 306		5,500					
	消防団車庫改築			,		-,		.,	.,	-,		¦	53,140					
	用的四半件以来											i —	33,140					
												!						
												!						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があり。	±+			-							 ×3+1/===	郷ナスナルハ門に	適さないなど、記載省略(※	ハナス担合がも口さ			
		ま 9。		1 .			-	主 表示方式员	*(OL I) D1	○ □		※人们に影	答りるため公用い	-週さないなど、記載省略(2	R) 9 る場合かめりa	- 9 .		
3.平风2	<u> 29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施</u>			ו ו ו	<u> </u>	30平度€	非夫果 有	夏、評価号	<u></u> (Check) R1.	8美爬		施策の						
												実施方針	・消防施設の	整備				
		TE 10 / /		H														
事業実績	・消防団車庫整備・解体2か所を行った。(一之宮支団(駅前)、久々野支団(・消防団車庫整備計画の一部の見直しを行った。	穚場))			事業実績				f(上宝支団(一重ヶ根・									
,				l ! I		*消防団単	車の解体を	1ヶ所(久々野	支団(坂屋班))を行った	Ξ.		担当課	・消防団車庫	の軟件				
												ポイント	一個的四半件	の金属				
				l ! I								i						
	・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車	両とともに、	計画的かつ効率									i						
	的に進める必要がある。					・消防団車	庫整備は、:	分団・班の再総	扁状況も踏まえつつ、消	防団車両とともに、計	画的かつ効率的に進							
評価等	・建築年度だけでなく、現地調査により破損・老朽化状況を把握し、修繕・長! める必要がある。	寿命化を中	いとした登備を進		評価等	める必要が	ある。					財務部						
	・他施設との併用等を図り、コスト縮減に向けて、地元消防団、町内との協議	及び調整を	図る必要があ			*公共施設	総合官埋計	凹や消防団隼	国庫整備計画に基づき記録	T囲的に登備を進める	必要がめる。	査定の	・積算内容の	精査				
	ర్ .											考え方						
			維持·改善								☑ 維持・改善							
次年度	・消防団車庫解体・屋根塗装3か所(久々野支団(坂屋)、上宝支団(一重ヶ村		拡大						上ヶ見)、上宝支団(吉	野))、旧牧戸駅舎の	□ 拡大							
以降の 考え方	座))		縮小廃止検討					支団(牧戸)) 支団(蔵柱・宮			□ 縮小 □ 廃止検討	市長査定		のとせい				
(担当課)	・整備方針に基づき計画的に施設の整備を進める必要がある。		廃止検討 H29完了						整備を進める必要があ	る。	□ 廃止検討 □ H30完了	の考え方	・財務部査定	いこのツ				
			H30完了予定								□ H31完了予定							
			,,,,,															

事業シ	·一ト(平成30年度決算)						41_消防本部.	xlsx_11								
		会計		会計			<u> </u>	塩盤・安全								
事業名	81310 消防車両整備事業費	予 款 項					計	肖防 肖防体制の充実			市長公約					
担当課	消防本部 消防総務課·警防課·救急課 内線 2119	# 月		施設費					·消防団車両整備計画	Ī						
	の目的・概要(Plan)		0 117/03	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1777	,,,, , , , , , , , , , , , , , , ,		•		<u></u> 	i等 主な指標	口20宝结	H30実績	山21日堙
目的	プロリーの 会 (Plan) ・消防車両(署・団)を適正に配置し、老朽化した車両を更新整備するこ動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保す		活概要	・消防車両	万整備計画 、	消防団車両	整備計画による計画的な	更新整備				NO CI RI ES	то при	11207799	1100×192	
2.事業(の実施結果等(Do)				100		1		20	(千円)	4.平成31		算編成(Actio			(千円)
	歳出事業費		最終	予算	H29 決:	算 (a)	当初予算(c)	H 最終予算	30 決算(b)	増減 (b)−(a)	要求額	H31予算	財務部査定額	実施計画額 市長査定額(d)	増減	76,000 (d)-(c)
	(職員人件費を除く)		50.13	110.366		110,334	124,000	123.801	121.949	11,615		5,302	76.000	76.000		∆ 48.000
	国費 (消防施設等整備事業費1/2)	12,400)	12,275	10.698	10.698	10.876	Δ 1,399	i —	,	,	•		<u> </u>
特定財源)			,_,			. 5,576							,
177277113	その他(地方債、白川村受託事業収入)	18,000)	18,000	34,000	34,000	24,000	6,000			25,000	25,000		△ 9,000
一般財			,	79.966	-	80,059	79,302	79.103	87,073	7,014	9	5,302	51,000	51,000		△ 28,302
個票枝番	主な事業内容			, 0,00		30,000	7 6,002	75,155	07,070	.,	査定額		31,000	説明		
	高規格救急自動車更新			20,160)	20,241	20,500	20,500	20,295	54		※ 高症	規格救急車1台			
	救急車積載用高度救命資器材更新			10,206	6	10,206	10,500	10,301	10,130	△ 76		※ 高	規格救急車積載の高	原 技命処置資器材一	 式	
	消防団車両更新			49,000)	48,891	51,000	5,100	50,474	1,583		※ 消	防団車両4台			
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新											※ 消	防団車両積載の資器	材一式 3台分		
	はしご車分解整備修繕			31,000)	30,996										
	消防署車両更新						42,000	42,000	41,050	41,050		※ 広	報車1台			
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が										※入札に影響する	るため公開に適	さないなど、記載省略 (※)する場合があります。		
	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施 ・消防団車両については、高山支団(天満班)、一之宮支団(山下班)に、新配備し、朝日支団(浅井班)、国府支団(三川班)の小型動カポンプで・高規格教急自動車を1台更新し、荘川出張所に配備した。	消防ポンプ車				・消防ポン: ・小型動力:	事業実績、評価等 プ車CD-I型1台、高規ポンプ付積載車6台を更彰 宮支団(駅前班)、高根支配	各救急自動車1台を更 fし、丹生川支団(坊方	新し、高山消防署に配信 班)、清見支団(夏厩班				■・広報車の更新(高 ・小型動カポンプ付積	山消防署) 積載車の更新(消防団)		
評価等	・計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持 ・老朽化した車両を更新整備することにより、消防活動の安全と災害時 きた。				評価等		消防車両等の更新を進め た車両を更新整備すること				財務部 査定の 考え方	賃算内容の精	香			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・車両整備計画に基づき、計画的な更新整備を図り適正に維持管理す・消防団車両整備については、分団、班の再編成状況を踏まえ、消防団もに、計画的かつ効率的に進める必要がある。	る。 団車庫とと 	✓ 維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H29完了 H30完了予		次年度 以降の 考え方 (担当課)	·消防団車	計画に基づき、計画的な3 両整備については、分団、 的かつ効率的に進める必	班の再編成状況を踏		☑ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ H30完了 □ H31完了予定	市長査定の考え方・財	†務部査定 <i>σ</i>	Dとおり			

争未ン	一片(平成30年度决算)						1131	IM/本即.xi5x_i	_								
			会計	1 一般	会計			5 基盤・3	安全								
事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予	款	8 消防			計加列分野					市長公約					
10		算	項	1 消防			画施策概要										
担当課	高山消防署 防災課 内線 2117		目	3 消防	施設費		根拠計画	消防計画、航	村震性貯水槽整備	計画							
1.事業(の目的・概要(Plan)				ı								総合計	画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
												耐震性貯水槽	整備		2基	2基	2基
	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等におけ				TION MINE			******									
	確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域のD る。			概要		水槽整備計画に基づき 朽化がみられる消防水		r 登偏りる。									
	・既存の消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動が持し被害を軽減する。	ができる	る環境を維		•防火水槽	の清掃(土砂除去等に	よる環境改善と水	量維持)									
	170 D. C. PEN, 7 '00																
												L					
2.事業(の実施結果等(Do)			1			1				(千円)	4.平成31年		算編成(Action			(千円)
	歳出事業費			E 44		29 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	N/ +n = /at /	\	H30		144 >+ (1) ()	TE -14 6X	H31₹		実施計画額	144.74	30,000
	(職員人件費を除く)			取約	予算	決算 (a)	当初予算(最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求額		財務部査定額	市長査定額(d)	瑁 滅((d)-(c)
1					28,719	,		,300	35,499	34,168	5,550		5,327	39,700	39,700		4,400
	国費 (消防防災施設等整備費1/2)		5,386	5,386	5	,386	5,386	5,386	0	ţ	5,386	5,386	5,386		0
特定財源	県費()								l li						
	その他(地方債、コミュニティ助成雑入)		2,000	2,000	12	,000	14,000	17,000	15,000		0	12,000	12,000		0
一般財	源				21,333	21,232	17	,914	16,113	11,782	△ 9,450	59	9.941	22,314	22,314		4,400
個票枝番	主な事業内容				·	,		,	,	•	,	査定額	,	,	説明		•
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体				16,065	16,065	18	,000	18,000	17,985	1,920		:X:	耐震性貯水槽更新2基、	撤去2基		
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入				2,534	2,521	2	,000	2,199	2,117	△ 404		** /	ト型動カポンプ4基			
	水利施設の維持管理等				10.120	·		,300	15,300	·	i	11	5.500	, 130,51,55 (4)			
	小村.応設の推付官理寺				10,120	10,032	. 10	,300	15,500	14,066	4,034	1,	3,300				
											i						
											l li						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場	合があり	ます。									※入札に影響する	ため公開	に適さないなど、記載省略(%	()する場合があります。		
3.平成2	.9年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施	施		<u> </u>	;	5.平成30年度	事業実績、	評価等(C	heck) R1.	8実施	<u> </u>						
												施策の 実施方針・消	防施設σ)整備			
											l l	大心刀到					
	ᆚᇑᄹᇝᆚᄹᄬᄷᅴᄑᇉᄫᄼᅋᆂᇝᆚᄹᇈᇰᆚᇑᄹᇝᆚᄹ	o. = *	r+ <- +	/o# 5 6 E	_	TI (TI AL O		ᄨᄼᄪᆂᇠᆡ		D-1.# . 0 = ** + <-	+ /o# 7 + m +n						
事業実績	・耐震性貯水槽整備計画に基づく既存防火水槽から耐震性貯水槽へ府)	►の史末	すを仃つた。	(2基 久々野	P、国 I	中央中(4 日)					った。(2基 久々野、朝						
尹未天祺	・防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を修繕した。(3基・防火水槽の清掃を行った。(土砂除去等による環境改善と水量維持)			的火水作	の漏水、水槽本体 の清掃を行った。					担当課・計	画的な耐	震性貯水槽の整備			
	例入が借い付加とロッた。(エルトムサーのの水光の日こが至極)。	1/(146)	,		- 1	INJ XXXIVIE	1007111112111 2728	(10)541	COURTO	八里和[1] / (142)	l:			能保全と適正配置			
	・非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制・	の充実	と地域の防	災力強化を	図るこ	・非耐震性	の防火水槽を耐力	震性貯水槽に	更新することで、消	肖防体制の充実と地域	の防災力強化を図るこ						
評価等	とができた。 ・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減する	ことが	できた		- 1!	評価等とができた		用することで く	巛宝!⁻ ⊦ス被宝を	軽減することができた		財務部					
	行例が行うと地工に軽するとす。 ひここく、火日にみる 吹日 c 牡 成 5 で	,,	CE12.		- 11	W CONTRACTOR	と地址 〜	±, 000000	火日にみる灰日と	+11%, 9 0 0 0 0 7 0 0 7 0	•	査定の 考え方	算内容の)精査			
				### 7L*							D ## 1. *	-5 /L/J					
				維持·改善 拡大	H						☑ 維持·改善 □ 拡大						
次年度 以降の	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、引き続き老朽化した防火水槽を	耐震性!		縮小						火水槽を耐震性貯水	□ 協へ □						
考え方	槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。			廃止検討	Hi	考え方 間に更新し	ノ、震災時にも使用 域を図りながら、消			施する。	□ 廃止検討 □	市長査定・財	務部査定	こ のとおり			
(担当課)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			H29完了		(担当課)	, c = , 5, 5, 7,	10,771 1 1 V No. 11	- UTEL 7 CTCT		☐ H30完了	の考え方					
				H30完了予	定						□ H31完了予定						
							/1 TE	防本部.xlsx_1	2								81320

事業シ	ノート(平成30年度決算)							41	_闲防本部.:	XISX_13									
		숲	会計	1 一般会計				総基本分合	野 5 基	基盤·安全									
事業名	81330 消防資器材整備事業費	<u></u>		8 消防費				計 個別分					市長公約						
			項	1 消防費				画施策概		当防体制の充実									
担当課	消防本部 消防総務課·警防課·防災課·救急課 内線 2119 2119		目	3 消防施設勢	ŧ			根拠計画	消防計	画•消防資器材整備計	一								
1.事業	の目的・概要(Plan)													総合計	画等 主な指標		H29実績	H30実績	H31目標
目的	・消防資器材及び初期消火資器材については、経年劣化した資器材の 行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の育成、組織の強化を図る。		i正に	概要・初其	別消火	資器材を整(資器材の更 組織の訓練	新及び修繕		、総合的な)	肖防力の向上を図る。			「消防・救	急体制が整って	ている」と感じている市民	民の割合	83.9%	82.6%	
の車業	│ の実施結果等(Do)											(千円)	1 亚克	21 年 府 圣	·算編成(Action	2)			(千円
2. 字 未	の 夫 心 和 未 守 (D 0)				Н	29				H3	30	(+1-1)	4. 干水	<u>31 十 戌 ア</u> H31予		実施計	画額		8.000
	歳出事業費		-	最終予算		決算	Į (a)	当初予算	Į (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査気	È額(d)	増減((d)-(c)
	(職員人件費を除く)			18	,200		17,444		23,100	23,100	21,931	4,487		55,083	28,630		28,630		5,530
	国費()																
特定財源	県費 (消防施設等整備事業費)								290	290							
	その他(コミュニティ助成雑入)							800	800	800		1,684					
一般則	源			18	,200		17,444		23,100	22,300	20,841	3,397	i	53,399	28,630		28,630		5,530
個票枝番	主な事業内容												査	定額		説明	月 ·		
	消防資器材の整備			12	,300		13,155		17,300	17,300	17,031	3,876		18,530					
© 1	初期消火資器材格納箱の色彩変更								1,500	1,500	594	594							
	消防団装備品			5	,900		4,289		4,300	4,300	4,306	17		10,100	奇易デジタル無線 ほか	١			
													i						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が	「あります。											※入札に影	響するため公開に	・適さないなど、記載省略()	※)する場合が	あります。		
<u>3.平成</u>	29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施 ・常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。			*		5.平成3	·常備消防_ ·救命講習》	上下式防火衣 刊訓練人形・A	8着を更新彗 EDトレーナ	学(Check) R1 整備した。 一を整備した。 26基、ホース54本を更		+	施策の実施方針						
事業実績	- 空気呼吸器用ボンベ37本を更新整備した。 ・初期消火資器材について、格納箱17基、ホース59本を更新整備した。 ・消防ホース(常備、団)112本を更新整備した。 ・消防団簡易デジタル無線機80台を購入した。 ・消防団へッドライト357個を購入した。 ・消防団分団旗、吸管を整備した。					事業実績	・消防団員月 ・県操法大会 ・消防団のション・水害用救助・景観重点	助胴長を10着 区域及び市街	を165着整値 り旗1基を割 (吸管、操注 整備した。 地景観保存	帯した。	塗装した。		担当課予算要求ポイント		の計画的な整備による に必要な装備品の整備		制の向上		
	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全を確保し、現場対応力	の充実	治化が図	16ht-															
評価等	「相切具命や名前回的に支制に、相切治動の安全を作成し、記場対比の ・老朽化したわ期消火資器材を更新し、自主防災組織の活動の安全を可 ・消防団員への安全装備品の整備により、団員の安全管理及び現場対 ・消防団装備品については、経年劣化等による資器材等の更新により、 きた。	確保するこ 応力の強	ことに繋 針化が図	がった。 られた。		評価等	・老朽化した ・消防団員へ		器材を更新し 品の整備に	し、自主防災組織の活 こより、団員の安全管理	、現場対応力の充実強 動の安全を確保するこ 関及び現場対応力の強 害発生時の現場対応力	とに繋がった。 化が図られた。	財務部 査定の 考え方	・積算内容 <i>の</i>	精査				
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・更新整備した資器材を適切に配置し、有効活用することにより総合的なの向上を図る。 ・老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による安全を確保する。 ・消防団の安全装備品については、団からの要望も踏まえ、適切な整備・消防団装備品(資器材)については、火災だけではなく地震、風水害等る災害に対応可能な資器材の整備を検討する必要がある。	る活動の		縮小 廃止検討		次年度 以降の 考え方 (担当課)	・老朽化した 安全を確保 ・消防団活動	:初期消火資する。 する。 動に必要な資	器材の適切: 器材につい	ることにより総合的な沢な更新を進め、自主防な更新を進め、自主防では、火災だけではな と備を検討する必要がる	び組織による活動の く地震、風水害等のあ	☑ 維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H30完了 H31完了予定	市長査定の考え方		このとおり				

事業名	81330 消防資器材整備事業費		☑ H30新規	☐ H31新規		会計	- 1	一般会計	担当課	高山消防署防災課	
	01000	区分	☐ H30拡充	☐ H31拡充	- 予管	款	8	消防費	担当床	同山州奶有 财火杯	
枝番·内容	1 初期消火資器材格納箱の色彩変更	区刀	□ その他重要事業	業	了开	項	1	消防費	内線	2117	
校田 77日	「四別の人具面では日からか交叉					目	3	消防施設費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

サネッロロ	1) 196,52 (1 Idil)		
目的	・中心市街地の景観重点区域等に設置されている初期消火資器材格納箱の色を変更し、歴史的 景観及び自然景観と調和した景観の形成に配慮する。	概要	•格納箱の塗装

[参考] H29	決算(Do •	Check)	H30.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
了异似	補正等			
	最終			
決算	算額			
対前年度増	減額(決算)		-	

[参考] H30)当初予算((Action)	H30.3時点	(千円)
予算額	当初			1,500
主な経費	・塗装業務の委	託		
対前年度増減	額(当初予算)			1,500
ン 1 H に配線は	- スため八門に次	5ナナンハナンビ	司報少収(※)オス	변수 til

※入札に影響するため公開に適さないなど。	記載省略(※)する場合あり

	市业中体 部件等	
	事業実績、評価等	
		維持·改善
次年度以降		
の考え方 (担当課)		
		H29完了
		H30完了予定

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容、スケジュール
[事業内容] ・格納箱の塗装(赤色→茶色) 城下町景観重点区域及び市街地景観保存区域の格納箱 74基
[スケジュール] ・4月~6月 設計等準備 ・7月~12月 格納箱の回収、塗装、設置

H30決算(Do·Check) R1.8時点 任円					
110000	当初	I TI I OF J MK	1,500		
又答析	繰越				
予算額	補正等				
	最終		1,500		
決算額			594		
対前年度増	減額(決算)		594		

	事業	美実績、評価等		
[事業実績] ・格納箱の塗装 城下町景観重	(赤色→茶色) 点区域及び市(封地景観保存 ፟	⊠域の格糾	h箱 80基
会、景観保存会	から茶色に塗装 :及び町並保存: :調和した景観 <i>0</i>	会)から賛同する	る意見があ	5り、歴史的景観
				維持·改善 拡大
次年度以降				な 小
次年度以降 の考え方 (担当課)				縮小 廃止検討 H30完了

H31予算要) (千円)	
予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減	額(当初予算)	

事業内容、スケジュール	

41_消防本部.xlsx_14 30-1